

高槻の高齢社会をよくする会総会報告

2018年度 活動報告

I・高槻の高齢社会をよくする会

[総会]

5月26日(土)午後2時より第16回定期総会が開催されました。会員数238名中、出席者42名委任状提出132名で総会成立。2017年度の活動報告と決算報告、2018年度の活動方針と予算が認められました。総会の後は関西中心の弾き語りユニット「N.B」のコンサートで楽しんで頂きました。

[運営委員会]

毎月第3土曜日午前に開催しました(8月のみ休み)。理事会の方針に基づいて、17名の委員により年間の諸行事を企画し、実施しました。お便りも発行しました。

[理事会]

理事会は3回開催しました。

[井戸端会]

塚原ブロック 塚原集会所 毎月第2火曜日 13:30~15:30 担当 吉田和子
手芸作品を作りながらおしゃべりを楽しんでいます。

南平台ブロック 南平台集会所 毎月第3火曜日 13:30~15:30 担当 山本洋子
よくこれだけ話題があるなと思うほど話が弾みます。知らなかった地域情報、詐欺や病気のこと、豊富な体験や知識を披露して止まりません。余裕がある時は軽い体操で身体をほぐし、ウクレレ伴奏で懐かしい曲を楽しみます。

[行事・活動報告]

7月21日(土) 映画会 「鍵泥棒のメソッド」 13:30~15:30 参加者30名
堺雅人、香川照之出演のコメディ。映画の後は皆で冷たいおぜんざいを頂きました。

10月7日(日) NPOフェスタ 会場 高槻市役所内
今年度のテーマは「あなたと私の地域のために」で利用者さん達と作成したカルタを模造紙に貼って展示しました。昨年同様「いきいき会」と喫茶店を開き、150人分のコーヒーとクッキーを提供しました。

10月20日(土) 勉強会「私たちの老後を考える」13:30~15:30 参加者30名
4つのテーマ(A・病気やけがなどの不安、B・日常生活上の心配事、C・介護や認知症のこと、D・自宅で住み続けられなくなる不安)を考えて、それぞれにアドバイザーを配置し、参加者は自分の心配事や興味のあるテーマを選び、話し合いや質問

をしました。

1 1月24日（土） よくする会祭り 11：30～14：30 参加者 60名
弦楽四重奏「ソラリス」の演奏のあと、ランチバイキングを楽しんで頂きました。
ランチは鮭寿司と恒例のトン汁・うどん餃子・野菜スティック・コーヒー・シューク
リームなど人気の品々を用意しました。例年皆さんに喜んでもらっています。

1月19日（土） ふるさと高槻を知ろう その4 13：30～15：30 参加者 29名
「高山右近四つの顔」と題して、2016年福者となった高槻城城主高山右近の生涯
と信仰について「高槻文化財スタッフの会」の川島博さんにお話をして頂きました。
講演の後は温かいおぜんざいをお出ししました。

[ありんこの会]

利用者 26 名を 14 名の支援者が担当しました。利用者の内 4 名が支援者でもある
のが互助活動の特色です。実施した依頼件数 86 件、実働回数は 376 回です。毎週の
15 分のゴミ捨てから 1 日がかりの庭木の剪定なども 1 回に数えています。

一番多いのはゴミ捨てで、それ以外に、今年は地震と台風の被害のゴミ処理が加
わり、また終活に向けての整理と多量のゴミ処理もありました。包括支援センター
の依頼も増えています。その中で印象的だったのは、最期まで自宅で過ごす事を希
望する一人暮らし男性支援です。5 人の支援者が 4～5 回/週夕方の支援をして 50 回に
なりました。「ありがとう、助かります」の言葉に支えられて老衰死までささやか
でも寄り添えました。

「ほっとけない」気持ちでの有償ボランティア活動ですが学ぶこと多く、高齢でも
出来るのが沢山あります。今後ますます要望が増えていきます。もっと気軽に「助
けたり、助けられたり」の活動に支援者として登録頂きたいお願い致します。

[福祉ステーション「えにし庵」への支援]

2018年3月24日で活動を終了しました。塚原地区で週2回のコミュニティカフェ
がなくなった事は残念です。

[認知症を理解し地域で支える会への支援]

毎月の定例(運営委員)会と行事实行委員会に4名のよくする会会員が参加し、年3
回の「認知症の人と家族のための情報交流と相談会」と研修会「語ることの意味、聴
くことの意味」に参加しました。

[ほっこりカフェ氷室への支援]

2年前に高槻バプテスト教会の相談から始まりました。認知症の人達が診断を受け
ても居場所なくなっていき、生きる希望まで失ってしまう事があります。そのため
にカフェが有効な場所として注目されています。毎月第4金曜日の10時よりバプテ
スト教会にて、認知症の人と家族・支援者が集まり、皆で相談して食事を作って一緒
に食べます。皆に役割があり、食べる楽しみは最高のご馳走です。世話人には、よく
する会会員から5名参加しています。

[よくする会だより]

第63号～第66号を発行して皆様にお届けしました。

担当 石田千賀子 他

[ホームページ]

アドレス <http://www.hamuro.org>

見やすいように編集し直しアドレスを変えました。スタッフが誰でも入力できるよう簡便化したので、情報提供をスムーズにできるようになりました。

つどいの家「はむろ」の利用を考える家族、ボランティア活動等を考える人など、ホームページを見る人が増え、写真等が多くて楽しい様子が良く分かるとの感想です。ネットで「つどいの家はむろ」と入力すると上位で検索できます。

NPOは情報公開が命ですので、総会報告内容はもちろん、各活動の詳しい報告、「はむろ」スタッフの紹介等楽しいものまで、情報公開に努めています。

[非営利組織評価センターよりグッドガバナンス評価] を頂きました。

2018.10.26 付けでグッドガバナンス評価を頂き、認証をいただきました。

半年にわたって「Ⅰ、学びと創造」「Ⅱ、市民参加と連携・行動」「Ⅲ、社会的責任と信頼」「Ⅳ、自立と自律」の領域で調査頂き、その透明性と信頼性が認められました。

第三者評価を頂くことで、安心して寄付できる団体として認められたのですから嬉しい事です。



[2018年度 ご寄付者名 (敬称略)]

雨森侑子、石井幸栄、大間暁子、近藤シゲキ、城月澄子、高橋多恵、坂東君子、広瀬和子、藤原純一、前田吟子、山本せつ、山本洋子 (五十音順) その他匿名の方々。物品のご寄付も頂いております。たくさんのご寄付ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

Ⅱ・つどいの家「はむろ」活動報告

[事業報告]

担当 吉原暁子

昨年は6月の地震に続いて9月の大型台風と心休まる時がない一年でした。開所16年を経て、施設の老朽化やスタッフの高齢化がぼつぼつ気になり始めた矢先の災害に心が萎える思いでした。とはいえ、つどいの家「はむろ」を変わらず愛し、利用してくださる利用者の方々を大切に思い、何とか援助したいと願うスタッフの姿勢はずっと受け継がれ、良い伝統になっています。

デイサービスの利用者の方がショートステイ（お泊り）を利用されることが増えるなど、利用者数が減少し始め危機感を感じたスタッフが、包括支援センターやケアプランセンターに営業に出向き、利用者を増やすための努力をしました。訪問介護ではサービス提供責任者の負担増に伴い、増員募集をかけてみましたが、うまくいかず断念しました。

2月には福祉指導課からの実地指導がありました。明るくて活気のある事業所だとの評価を頂きましたが、一方スタッフの時間管理をきちんとする必要があるとの指摘があり、タイムレコーダーを導入しました。出勤、退勤を打刻するスタッフの姿は開所以来初めてで、なにか新鮮な感じがします。

元号が新しくなる今年度は、つどいの家「はむろ」もまた新しい気持ちで事業展開ができたらと願っています。

[ボランティア] 担当 丸山けい子 他1名

今年度もたくさんのボランティアさんに支えていただきありがとうございました。1年を事故なく無事に終えることが出来ました。ボランティアさんが来て下さることで、スタッフにゆとりが出来、よりよい介護につながっています。感謝申し上げます。

個人登録（月～金曜日のデイでのお手伝い、囲碁の相手等）20名、のべ559回。団体登録（演芸 歌 楽器演奏 踊り 朗読など）は新しいグループの方も2組増え、24組のべ83回とたくさんの方々に助けていただきました。

ボランティア交流会は9月15日（土）に高槻警察生活安全課の方に来て頂き、「振り込め詐欺に騙されない為に」をテーマに色々な新しい詐欺の手口やそれを防ぐ方法などのお話をして頂きました。「知らない番号の電話には出ないこと」これが被害に遭わない一番の方法です。高槻市の被害額が大阪で一番多いそうですので、皆様も騙されないようにくれぐれも気を付けて下さい。

☆ボランティアさんを募集しております。よろしくお願い致します。

[街かどデイハウス] 担当 松井史枝 他4名

高槻市の方針により街かどデイハウスへの補助金削減の中、デイサービスの利用者さんのお手伝いをする事や、出来るだけ新しいことに挑戦するなど、生きがいを感じて頂ける活動になるようにレベルアップしたプログラムを実施して行こうと頭を悩ました一年でした。街かどデイハウスを皆様にとって、より楽しく充実したものにしていこうとスタッフ一同、頑張っています。

2019年4月より高槻市からの補助金が全て取りやめとなる為、利用料の値上げを再度、お願いせざるを得なくなり、1日の利用料を1,600円（昼食代650円を含む）とさせて頂くこととなりました。快く応じて下さった利用者さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

[地域密着型通所介護（デイサービス）] 担当 山本美子 他10名

今年度も大きな事故なく無事終える事が出来たことを嬉しく思います。「はむろ」はいつも元気で活気のあるデイサービスです。認知症の方も少しずつ増えている現状ですが、お元気な方々の暖かい眼差しも増え、スタッフの努力で体操もレクリエーションも同じように参加できる場面が多くなっています。

午後のひと時、それぞれ脳トレ、ゲーム、歌、習字等自然にグループが出来て楽しんで頂いています。最近、五目並べが人気で遠くから眺めていた人も昔を思い出して参加してくれます。いい頭の体操になります。

来年度、スタッフは認知症ケア専門士のナースと認知症介護実践研修を終えた二人を中心に認知症介護をよりのめを絞って勉強し、良い介護が出来るようにスタッフ一同頑張りたいと思っています。

[訪問介護(ヘルパー派遣)]

担当 黒柳秀子 他 11 名

2018 年度は介護保険の利用者が 42 名、障がい 2 名でした。その内要支援が 33 名、そのためサービス内容は家事支援が多く、身体介護は 9 名と少なくなっています。最近の傾向としては、自宅での生活が難しくなると、施設に入られる方が多くなってきたため、ヘルパーが入る期間も短くなってきたように思います。これからも利用者さんが少しでも長く慣れた自宅で暮らせるために、ヘルパー一同力を合わせてがんばっていきます。

[たすきの会]

担当 黒柳秀子 他 11 名

2018 年度のたすきの会利用件数は月に延べ 30 件あり、その中に定期的に週に数回利用されている方が 3 名ほどおり、その方たちはもう数年にわたって利用されています。というのも介護保険では利用できない、でも、利用者さんや家族にとっては必要なサービスを提供させていただいています。

[居宅介護支援(ケアプランセンター)]

担当 片野淳子 他 3 名

今年度は管理者を含め 4 名のケアマネジャーで約 80 件の利用者を担当させて頂きました。それぞれのケアマネが利用者の状況や事情を把握し、その人に合った支援ができるよう努めてきました。

昨今、疾患の急激な悪化やご家庭の事情等で施設入所も増える傾向にあります。ただ住み慣れた地域で在宅生活を続けていきたいという思いも大切にしたいと考え、利用者の方に寄り添った支援を継続し、利用者自身が選択できる提案ができるようにケアマネジャーとしての経験や質を高めていきたいと思ひます。

[スタッフ会議]

管理者ミーティング 毎月第 3 木曜日
スタッフミーティング 毎月最終金曜日

デイサービス及び街かどデイハウス、居宅介護支援と事務のスタッフ、訪問介護の常勤者が参加。情報交換や研修を行い、最終意志決定機関となっている。

ヘルパーミーティング 毎月第 4 木曜日 ケースカンファレンスや研修を随時実施
デイミーティング 毎月第 2 金曜日
プログラムミーティング 毎月 1 回 (不定期)
ケアマネミーティング 毎月 1 回 (不定期)
ナースミーティング 毎月第 2 火曜日
メニュー会議 「いきいき会」と年 2 回昼食メニューの検討

その他、防火訓練 (年 2 回)、訪問ケースカンファレンス、送迎ミーティングなどを随時行った。

[その他]

今年度、消防署の検査が入り、100 点満点のお墨付きを頂きました。安心して「はむろ」に来て頂けるように年 2 回の防火器具の点検と防火訓練を欠かさず、この状態を維持したいと思います。